

【令和元年度 岡山県地域年金事業運営調整会議 議事要旨】

◎平成 30 年度の会議で出されたご意見に対する報告について

○県内の年金セミナーのアンケート結果の状況について

「年金セミナーのアプローチ用の資料」(平成 29 年度の全国集計のアンケート結果あり)、昨年 7 月に実施した玉野高校で使用した「年金セミナー用ワークシート」、「玉野高校 2 年生の年金セミナーのアンケート結果」、及び「同校 3 年生の年金セミナーのアンケート結果」を提示。

年金制度のイメージについて「良い」と回答をいただいたのが、平成 29 年度の全国平均では年金セミナー前 41%から年金セミナー後 86%に対して、玉野高校 2 年生では年金セミナー前 32.1%から年金セミナー後 78.8%、玉野高校 3 年生では年金セミナー前 40.0%から年金セミナー後 75.4%と年金セミナー受講後は改善をいただいております。

年金セミナー後、年金制度が理解できたと回答した受講者は、平成 29 年度の全国平均では 90%以上、玉野高校 2 年生・3 年生とも、同様に 90%以上の結果をいただいております。

○国民年金保険料納付率の年齢別状況について

令和元年 6 月 27 日に厚生労働省からプレスリリースされた「平成 30 年度の国民年金の加入・保険料納付状況について」を提示。

国民年金保険料の現年度納付率は平成 23 年度から 7 年連続で上昇しております。

(参考資料 5 ページの「4 年齢階級別納付率(現年度分)」を見ていただき)年齢階級別の納付率は、平成 30 年度は平成 29 年度に比べ全ての年齢階層で現年度分納付率は上回っております。

○「年金の日」の年金相談について、集客のため、場所の選定、事前広報、他の行事との連携が必要

事前のプレスリリース、商業施設のチラシへの掲載、事前の施設内へのポスター掲示、各商工会議所様のポスター掲示をお願いするなどにより、相談件数が平成 29 年度 26 件に対し、平成 30 年度は 31 件となっております。

また、年金相談とあわせ、施設を利用・通行されているお客様に対して、ねんきんネット、予約相談等の制度周知チラシを 112 件配布しました。

◎議題 1 平成 30 年度岡山県地域年金展開事業の事業実施結果について

(事務局)

地域連携事業について、資料 4 により説明。

○税務署と連携した年金制度説明会について報告

(津山年金事務所長)

津山年金事務所は、平成 30 年度の税務署の年末調整の制度説明と連携し、年金制度説明を実施しました。平成 29 年度から実施しているものです。

平成 30 年 11 月 2 日に津山税務署管内、11 月 13 日に美作税務署管内において、津山は午前と午後の 2 回、美作は 1 回、年金ネット、予約相談、年末調整に合わせて国民年金保険料の控除証明書の再発行等のご案内を 15 分程度の時間で行いました。

今年度については、算定基礎届事務説明会において、税務署から消費税の増税に係る軽減税率制度についての説明を行っていただきました。今後も連携した制度説明を実施していくことを確認しています。

○民生委員に対する年金制度説明会について報告

(岡山東年金事務所長)

岡山東年金事務所は、赤磐市役所に対して民生委員への年金制度説明をさせていただきたいと申入れを行い、平成 31 年 1 月 10 日に赤磐市役所にて開催された赤磐市山陽地区民生評議員の定例会において、年金制度説明を行いました。

出席者は 48 名、時間は 30 分で国民年金制度の概要と地域型年金委員制度について説明を行い、後日、2 名の方に地域型年金委員になっていただきました。

(事務局)

地域相談事業について、資料 4 により説明。

○大学構内における出張年金相談等について報告

(高梁年金事務所長)

高梁年金事務所は、高梁市の吉備国際大学において、外国人留学生向けに国民年金の加入、国民年金保険料の納付について年金制度説明、納付相談会を実施しています。

外国人留学生は、インドネシア、ベトナム、スリランカ、中国、韓国の方、同大学の学部は、保健、医療、福祉関係となっています。

外国人留学生は、入学前に日本語を習得されており、毎年、春に 60 名、秋に 60 名

が入学され、春と秋に実施される入学時のオリエンテーションにおいて30分の時間をいただき、年金制度説明を実施しています。

納付相談会については、大学構内にて、春は毎年4月・5月・6月に各一日終日1ブースをお借りし実施しており、秋も同様に実施し、海外からの留学生ほぼ全員、国民年金保険料学生納付特例申請書を受付しています。

(事務局)

年金セミナー事業について、資料4により説明。

○支援学校を対象とした年金セミナーのアプローチ等について報告

(倉敷東年金事務所長)

倉敷東年金事務所では、平成29年度に倉敷市立倉敷支援学校の生徒の保護者の方々を対象に年金セミナーを実施しました。(ご参加いただいた保護者の方は75名)

平成30度は3校の支援学校において、高等支援学校1校では3年生に対し、またその他の支援学校2校は生徒、保護者、教職員に対し、年金セミナーを実施いたしました。

この支援学校での年金セミナーの開催にあたりましては、岡山県教育委員会の就労支援コーディネーターに多大なるご協力をいただきました。

この方は、年金セミナーへの取り組みに非常に熱心な方で、お聞きすると、ご自身が障害のあるお子さんを育てられた方で、また社会保険労務士の資格をお持ちという方ですが、我が子の障害年金の請求にあたり「大変苦勞をした」との経験をお持ちで、同じような経験をされるであろう支援学校の保護者に、少しでもお役に立てればと、むしろコーディネーターより積極的に私どもにアプローチをいただいた稀なケースでありました。

講義は約1時間の説明時間のうち半分を当事務所の職員が一般的な年金制度の説明をし、残り半分の時間をコーディネーター自らが、具体的な障害年金の請求手続きの説明を行っていただきました。

受講された保護者からは「年金の大切さがわかった」とか「障害年金請求の不安が解消された」等のご意見を頂戴いたしました。

今年度につきましても、引き続き就労コーディネーターとのコラボによる年金セミナーを実施することとしており、現在日程を調整しているところです。

生徒向け、あるいは保護者向け、それぞれのニーズに合った内容で、セミナーを通じ年金制度の大切さと必要な手続きがご理解を頂けるよう準備をさせていただいているところです。

(事務局)

年金委員活動支援事業について、資料 4 により報告。

● (議長)

平成 30 年度事業実施結果について、意見はありませんか。

● (日本放送協会岡山放送局 西宮委員)

若い人は年金を納めても、本当に将来もらえるのかと思っている。

参考資料「知っておきたい年金のはなし」には、年金の必要性、高齢者を支える必要性は書かれているが、年金セミナーで、若い人が高齢となったときに年金がしっかり支給されるのかを、どのように説明しているのか。

同資料の中の「太郎と花子の人生行路(ライフステージと年金)」の箇所について、最近の若い人は共稼ぎが多く、結婚して退職する方は少ないと思う。現在の状況に合わせたライフステージに変えた方がよいのではないか。

● (山陽新聞社 中浜委員)

学生への年金セミナーを多く実施されているのは理解できた。その中で支援学校での年金セミナーは有効であると感じた。他の支援学校でも実施した方がよい。

留学生への説明会は時勢に合っている。どの大学も留学生は多いので吉備国際大学以外の大学でも実施した方がよい。

(岡山西年金事務所長)

年金制度は持続可能な制度設計となっており、そのことを学生にどのように伝えるかということです。年金の大切さと財政状況との調整を説明しています。

「太郎と花子の人生行路(ライフステージと年金)」については、社会環境が変わっている中で資料も変わらなければならないと思いますので、本部に伝えてまいります。

支援学校での年金セミナーは、他の支援学校へも広げていきたいと思います、また生徒だけでなく保護者に対して説明することも有効であると考えています。

留学生に限らず外国人への対応として、14 か国語のパンフレットを市町村の窓口を設置していただいております、年金事務所窓口では電話による通訳サービスにて相談に応じています。

● (岡山県教育庁 鶴海委員)

教育現場においては、“なにになに教育” いわゆる“レッテル教育”が多い状況にあり、年間を通して 1 時間という時間を確保するのが難しい。年金セミナーの時間はどのくらい必要か。

(倉敷東年金事務所長)

年金セミナーの実施時間は、アプローチの際に学校側と協議し、柔軟に対応しています。15分なら15分の資料を作って実施することも可能です。

● (岡山市市長会事務局 角田委員)

外国人に対する周知について、昨日、全国市長会理事評議員合同会議が開催され、外国人支援に対する検討会を設置することになった。

外国人の方が非常に増え、外国人への支援の関心が高まっており、全ての市で対応部署が設置されており、先進的なところでは、ワンストップで情報提供を行っている。総社市はベトナムの方が増えており、職員を増やし、ワンストップで情報提供と支援を行っている。

年金事務所から連携を図ったら有効な情報提供ができるのではないかな。

● (厚生労働省岡山労働局職業安定部 迫田委員代理)

留学生の関係では、岡山駅前に新卒応援ハローワークがあり、その中に平成29年度から外国人の管理アドバイザーを置き、留学生に対する指導や相談に応じたり、外国人を雇ったことのない事業所からの相談も受けている。

また、採用が決まっている学生について、2月に新卒応援ハローワークでセミナーを実施しており、年金制度についても説明している。そこでは、どうせ私たちは年金をもらえないのに、どうして保険料を掛けないといけないのかとの意見も多く、ハローワークの職員がセミナーで年金制度の説明をする際に苦慮している。年金事務所の職員が説明する方が望ましいと思う。

(岡山西年金事務所長)

現在の市町村との連携は、市町村の国民年金担当課と行っているが、外国人への情報提供に関しては市町村の外国人担当課へアプローチしていきたいと思います。

また、ハローワークの外国人の管理アドバイザーには各国語のパンフレットの提供と利用をお願いしたいと考えています。

新卒応援のセミナーにも、ぜひ参加させていただきたいと思います。

● (岡山年金協会 黒川委員)

年金受給者の立場から言うと、年金がないと生活できない、年金があっても生活は苦しいと感じている。

若い人への年金セミナーも大事であるが、年金がないと生活できないこと、年金には国庫負担があること、厚生年金であれば事業所も保険料を負担していることの広報も必要である。また、国民年金だけでは生活ができないため、厚生年金の加入者を増

やすことが必要である。

●（議長）

平成 30 年度の事業実施結果について、ご了承いただけるということによろしいか。

（全員了承）

◎議題 2 令和元年度岡山県地域年金展開事業の取組計画について

（事務局）

令和元年度岡山県地域年金展開事業の取組計画について資料 4 により説明。

令和元年度は平成 30 年度に対して、年金セミナー、年金制度説明会の実施件数を上回りたいと考えています。

●（議長）

令和元年度取組計画について、意見はありませんか。

●（厚生労働省中国四国厚生局 菅原委員）

昨年 9 月で国民年金保険料の 5 年後納制度が終了し、今後、低年金の防止策として年金額を増額できる制度である任意加入制度の周知が重要である。

これは、日本年金機構の中期目標、中期計画にも掲げられており、実施すべきである。

●（岡山県社会保険労務士会 永原委員）

岡山県社会保険労務士会でも出前授業を行っており、小中学校、高校で年間 35,6 校を社会保険労務士が 30 分から 45 分かけて実施している。課題はすそ野（実施校）が広がらないこと。

岡山支部では社会保険労務士月間の 10 月に年金相談を、倉敷支部では社会保険労務士の日の 12 月 2 日前後に年金も含む総合相談を実施している。

外国人の技能実習生が増えてきており、企業から依頼を受けて、年金・労働・社会保険関係について通訳をつけて説明を行っている。

●（岡山県社会保険委員連合会 森川委員）

年金セミナーは良いが、参考資料の「知っておきたい年金のはなし」は、資料の文字が多すぎ、これだけの情報量があると分かりにくい。もっとビジュアルに訴えた分

かりやすい資料を作成すべきである。

どうせ年金はもらえないだろうという考えが蔓延しており、制度としては理解するものの、保険料を納付しない方がいる。

（倉敷東年金事務所長）

分かりやすい資料の作成を本部に依頼したいと思います。

年金セミナーで使用する資料は、もっと分かりやすいパワーポイント資料を使っています。

●（岡山県社会福祉協議会 小川委員）

年金制度について、以前は 8～10 人で 1 人を支えていたが、現在は 3,4 人で 1 人、将来は 1 人が 1 人を支えるようになるという状況で、どんどん若い世代の負担が大きくなり、若者は世代間の不公平を感じている。そのため、若い世代に対して、年金は持続可能な制度であることをしっかり説明することが大事である。

●（全国健康保険協会岡山支部 岡出委員代理）

年金セミナー、年金制度説明会を積極的に実施していると思うが、回数だけでなく、内容を充実し県内全体で年金制度の理解度を上げてほしい。

また、各年金事務所の良い取組を他の年金事務所へも広げてほしい。

●（議長）

昨年の豪雨災害の対応について教えてほしい。

（岡山西年金事務所長）

地域年金展開事業に関しては、特別な対応はございませんでした。

国民年金保険料の納付催告業務を 4 か月間止めたため、一時的に未納が増えましたが、その後のフォローにより解消しました。

昨年度以降、各地で災害が起こっており、そのため全国的に納付催告業務に影響を与えることはありますが、年金制度の周知広報に関しては、継続して実施をしています。

●（議長）

平成 30 年度の全国的な状況で、厚生年金被保険者は増え、第 3 号被保険者は減り、第 1 号被保険者も減り、未納者は減っているが、岡山県はどのような状況ですか。

(岡山西年金事務所長)

国民年金保険料の納付率は岡山県も全国と同様伸びています。

厚生年金の適用拡大事業により、厚生年金被保険者が増え、厚生年金保険料も増えています。

● (議長)

意見いただいたことを取り組むことで了承してよいか。

(全員了承)

● (議長)

すべての議事が終了したので、これで終了させていただきます。

本日出された意見については、事務局から報告させていただきます。